

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1-1
大阪産業大学国際学部 藤岡克則研究室内
会長室：〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1 高知大学人文学部
奥村訓代研究室内
学会HP：<http://www.hikakubunka.jp/>

《会長 巻頭言》

日本比較文化学会会長 奥村 訓代

この度、皆様のご支援を賜り2期目を継続することになりましたこと、大変有難く、そして皆様に深く感謝致します。お陰さまで、従来から交流を深めてまいりました台湾との絆をより一層深めるためにも「台湾日本語教育学会」並びに「淡江大学村上春樹研究センター」との提携を結ぶこともできました。一方、韓国におきましても連携学会である「韓国日本文化学会」とのご縁で他の韓国3学会の連合学会の国際大会への参加も毎年回を重ねております。このように韓国・台湾との連携や連合が充実し、会員の皆様のより一層の研究と活動の場が広がることを念頭に置きながら連携学会を、今後はアジアから欧米諸国へと広げていきたいと考えています。そして「比較文化」という学問が、より多方面から、同時により多くの人々に親しまれ関心を持たれるように環境整備と情報発信が行えればと願っています。

最近の当学会傾向としましては、院生の入・退会が目立っています。しかも諸外国の留学生の方の入会と同時に口頭発表、学会誌投稿へのパーセンテージが増加傾向にあります。研究者や専門家への一つの登竜門としての利用も大歓迎ですが、学位取得後或いは帰国後の研究者としての発展のための学会継続が大きな課題となっている現実も見えてきます。その為にも、将来性の高い学会運営を目指したいと願っています。

外部資金の獲得や内部研究費捻出など、他学会、或いは世界と戦える「強い日本比較文化学会」を目指し、日本人、日本語、日本文化、及び我々を取り巻く環境と文化の全てを中心に、広く世界に情報発信できる独自性のある学会を目指して進みたいと考えています。その為にも以下の3点を中心に運営を続けたいと願っています。

- 1 関連する諸外国、諸学会との連携を蜜にし、研究の場と内容の充実を図る。
- 2 学会員同士の研究交流を促進すると同時に、内部資金および外部資金の獲得による研究環境の確保と充実を図る。
- 3 具体的には、学会誌の電子化とHPを利用した各種奨学金や応募情報の提供を行って行きたい。

と考えています。会員皆様のご理解とご協力に感謝致します。

《お知らせ：2018年度日本比較文化学会第40回全国大会（国際学術大会）の日時・会場決定》

日本比較文化学会会長・大会実行委員長 奥村 訓代（高知大学）

日時：2018年5月19日（土） 会場：高知大学（朝倉キャンパス）

シンポジウム・テーマ：「比較文化の手法」

- シンポジウム発表者は、以下の各地区代表5名（韓国代表、台湾代表、東北・関東代表、中部・関西代表、中四国・九州代表）

*選出は各支部長経由で大会委員奥村、山下、梶原まで（2018年1月末まで）

- 口頭発表、ポスター発表申込み締切 **2018年1月末**（採否確認2月10日・

レジメ締切3月10日）

連絡先：大会委員長・会長 奥村 訓代 hikaku40@hotmail.com まで

《報告：2017年度日本比較文化学会第39回全国大会（国際学術大会）》

中部支部長・大会実行委員長 澤田 敬人（静岡県立大学）

さわやかな陽気に恵まれ、5月20日（土）に、静岡県立大学を会場として、第39回全国大会・2017年度国際学術大会を開催いたしました。会員ならびに海外姉妹学会関係者のみなさまにおかれましては、運営にご協力いただき、たいへん感謝いたしております。

今回は、韓国日本文化学会、台湾日本語学会の海外提携学会に加え、静岡県立大学、台湾淡江大学日本語学科、台湾日本語教育学会との共催で、賑わいのある大会となりました。理事会、総会の後に、「台湾日本語教育学会との学術交流協定締結式」および「淡江大学村上春樹研究センターとの学術交流協定締結式」を挙行了しました。国際的な学術交流が充実し、お喜び申し上げます。

シンポジウム「比較文化の今日的意義」では、木田悟史先生（中部支部）の司会により、パネリストの頼振南先生、横山由香先生、河瀬彰宏先生、落合由治先生から先端的なテーマでお話をいただき、たいへん刺激を受けました。ありがとうございました。

午後は10会場に分かれ、合計55件の研究発表がありました。どの会場も、発表者におかれては、日頃のご研究の成果を存分に発揮なされたのではないかと考えております。司会をお務めいただいた先生がた、聴衆として議論していただいた先生がたに、御礼申し上げます。また、遠方からはるばるご参加いただいた会員のみなさまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

《編集委員会報告》

編集委員長 北林 利治

今年度大会の前日に開催されました編集委員会から主要な点を報告します。

中部支部があらたに編集に加わってくださることになりました。次年度以降、『比較文化研究』の投稿時期と投稿先が変わりますので、学会ウェブサイトの情報を見て、ご投稿をください。

投稿にあたっては、学会のウェブサイトに載っている投稿規程に今一度お目をお通しください。投稿規程には、以前から、「投稿論文は未発表のものに限る」とあります。博士論文など公表済み論文の一部（あるいは、一章分）を、そのままの形で投稿論文として投稿することはできませんのでご注意ください。

最後に、今年度は学会奨励賞を授与することができませんでした。この賞は、「論理性」「独創性」「貢献性」「将来性」の4点の基準から選考していますが、とくに、貢献性を重視しています。編集委員会は、比較文化学の構築に貢献する若手研究者からの投稿論文を期待しています。

《総会報告》

事務局長 藤岡 克則

2017年5月20日(土)、第39回全国大会が静岡県立大学にて開催されました。

はじめに同日午前開催された理事会の議を受け、2016年度事業報告、2016年度決算報告および監査報告が行われ、そして2017年度予算が承認されました。

なお、今回の総会では、大会運営に関わる2つの事項の変更が承認されました。1つ目は、2017年度以降、中部支部が学会誌編集参画することです。2つ目は、今年度まで年5回発行されている『比較文化研究』を、2018年度より年4回の発行にし、各支部は1年半に1回の編集作業分担とするということです。年4回の季刊(クォーターリ)発行とすることにより、さらに学術的に質の高い学会誌編纂を目指します。

また、総会において、「台湾日本語教育学会」並びに「淡江大学村上春樹研究センター」との学術交流協定調印式が執り行われました。海外連携学会との交流がさらに活発になることを、事務局として期待しております。



学術交流調印式の様子

***2016年度決算・2017年度予算報告は巻末(p.6)に掲載しております。**

《支部報告》

東北支部

*[報告]

9月9日(土)12時から18時まで、神田外語学院にて関東・東北支部合同例会が開催されました。研究発表には10名の発表者があり、日頃の研究成果を披露するための大変良い機会となりました。残念ながら、東北支部所属の発表者はおりませんでした。支部長としては、今後に大いに期待したいところです。発表者および発表題目などにつきましては、関東支部報告をご参照下さい。研

究発表の後、懇親会が開催され、大変盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。準備して下さった関東支部の皆様にご挨拶いたします。

支部長 佐藤 和博

関東支部

*[報告] 東北・関東支部合同例会

日時：2017年9月9日（土）12:00-18:00

場所：神田外語学院 3号館

プログラム

1. 例会開会の挨拶 関東支部長 近藤 俊明（東京未来大学）
2. 研究発表

司会（前半）：花澤 聖子（神田外語大学）

- (1) 平澤 百合子（放送大学大学院）「芭蕉発句の表現特徴と体系化」
- (2) 趙 美慧（宇都宮大学大学院）「中国における自動車メーカーのサプライヤー・システムの現状— 一汽・VW の事例研究を中心に—」
- (3) 野田 晃生（筑波大学大学院）「ワシーリー・エロシェンコ の思想・活動とノーマライゼーション」
- (4) 野元 明俊（新宿区議会議員）「ハラル食品店と地域社会について」
- (5) 郭 潔蓉（東京未来大学）「後発開発国におけるグローバル人材育成—ネパールの教育改革から—」

司会（後半）：鈴木 宣行（創価大学）

- (6) 城戸 亜希子（桜美林大学大学院）「表出する老いの恐怖—有吉佐和子『恍惚の人』に描かれた認知症—」
 - (7) 山田 秀平（茨城大学大学院）「子どもが描く外国旅行記における挿絵についての考察—『骨肉』（八・九月号）「朝鮮満洲旅行記念」における向野啓助の図画作品に着目して—」
 - (8) 金山 愛奈（茨城大学大学院）「児童画に現れる表象としての「太陽」—諸外国における傾向とその特徴—」
 - (9) 梁 鎮輝（宇都宮大学大学院）「露伴における『釣』の意味すること—近代へのまなざしを探って—」
 - (10) 向野 康江（茨城大学）「在満日本人による近代漢詩の特徴—向野堅一(1868~1931)による『拙庵詩抄』を対象に—」
3. 例会閉会の挨拶 東北支部長 佐藤 和博（弘前学院大学）

支部長 近藤 俊明

中部支部

*[お知らせ] 2017年度中部支部例会

日時：2018（平成30）年3月31日（土）13:00~

場所：名古屋国際センター（愛知県名古屋市・名古屋駅至近）

会場担当：大崎洋（愛知学泉大学）

プログラム

1. 総会、役員会の開催
2. 中部支部恒例「勉強会」（主宰者が90分程度の話題を提供し、参加者相互で学習します。今回の主宰者は、水町いおり先生（中京大学非常勤講師）です。）
3. 自由研究発表：年明けに申し込み書類等のご案内をいたします。本部ホームページをご覧ください。申し込みの締め切りは、3月上旬です。予稿集のための原稿を提出していただきます。奮ってご応募願います。

支部長 澤田 敬人

関西支部

*[お知らせ] 2017年度10月例会

日時：2017年10月28日(土) 14:00-17:00

場所：同志社大学 今出川キャンパス 至誠館 S24 番教室

プログラム

1. 研究発表

- (1) 三浦 裕子（九州大学大学院）「日本の洋菓子史におけるバウムクーヘンの存在」
- (2) 李 超（京都大学大学院）“The Houses That Lessing Built--Gendered Space and Female Mentality in Lessing's African Stories”
- (3) 道合 裕基（京都大学大学院）「佐藤春夫『西班牙犬の家』と谷崎潤一郎『途上』の比較文学的研究」
- (4) 朴 起範（関西大学大学院）「シネコンの登場による映画観覧文化の変化と観客の映画消費メディア選択」
- (5) 齊藤 大輔（同志社大学大学院）「駐米外交官時代における森有礼の外交活動と職分意識」

*[お知らせ] 2017年度12月例会

日時：2017年12月9日（日）

場所：同志社大学

支部長 山内 信幸

中国・四国支部

*[お知らせ] 中国・四国支部大会

日時：2018年2月11日（日）13:00～

場所：高知大学

プログラム

13:00 受付開始

13:15 開会式

13:20-16:30 研究発表

16:30-17:00 寄席

17:00 閉会式

17:30-20:00 懇親会（大学近辺：参加費 3500円）

尚、予約の関係で希望者は1月末までに送金願います。

送金先：(郵) 16480 1443771 オクムラクニヨ まで
応募要領：書式：WORD を 40 字×36 行に設定して、1 行目中央にタイトル。1 行空けて、
氏名、そのあと () 内に所属 (院生の場合は「院生」) を書く。また 1 行空けて概要
を A4 サイズ 1 枚におさまるようにレジュメを作成してください。
送付先：A4 サイズ 1 枚に作成したレジュメを添付ファイルにして、奥村 (中四国支部
hikakushibu@hotmail.com) まで。
締め切り：2017 年 12 月 20 日
採否連絡 12 月 30 日 (1 月 7 日までに連絡が届かない場合は、ご連絡下さい！)

支部長 山下 明昭

九州支部

*[お知らせ] 2017 年度関西・中国四国・九州 3 支部合同研究会

日時：2018 年 2 月 3 日 (土)

12:30 受付開始・13:00 開会式・13:20-16:00 研究発表・16:10-16:40 リサイタル
16:40 閉会式・17:30-19:30 懇親会 (小倉駅周辺を予定しています)

場所：西南女学院大学 (北九州市小倉北区)

書式：WORD を 40 字×36 行に設定して、中央 1 行目にタイトル、1 行あけて、氏名、そのあ
と () 内に所属を書く。1 行あけて、A4 サイズ 1 枚おさまるようにレジュメを作成し
てください。

送付先：A4 サイズ 1 枚に作成したレジュメを添付ファイルにして、八尋春海 (九州支部
yahiro@seinan-jo.ac.jp) まで。

締め切り：2017 年 12 月 12 日

支部長 八尋 春海

《事務局からのお知らせ》

事務局長 藤岡 克則

○会費納入のお願い

いつも会費の納入にご協力いただき、誠にありがとうございます。従来、一般会員は 2 年、学生
会員は 1 年を超えて未納の場合には、会員資格を失う (除籍) ことになっております。ご注意くだ
さい。会費に関するご質問等ございましたら、学会ウェブサイト (<http://hikakubunka.jp>) の「お問い
合わせ」ページより事務局会計担当までお問い合わせください。

会費納入の郵便振替口座番号は以下の通りです。より詳しい情報は上記ウェブサイトをご覧ください。

<本部会費 振込情報>

ゆうちょ銀行振替口座：口座番号：02570-6-8921 加入者名：日本比較文化学会

*他金融機関からの振込用口座番号：二五九 (ニゴキユウ) 店 (259) 当座 0008921

*年会費金額：一般会員—5,000 円 (大学院生を含む)

学生会員—3,000 円 (学部生)

賛助会員： 一口 10,000 円 （1 口以上）

注意点：

- 1) 振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。
- 2) 最近、本部会費と支部会費の混同並びに誤送金が増えております。以下の点を再度ご確認ください、お間違いのないようお願い申し上げます。
 - 2) -1 「本部会費」と「支部会費」の振込先および金額は異なります。本部では、本部会費のみの取り扱いとなります。
 - 2) -2 「支部会費」に関しましては、各支部にお問い合わせください。
- 3) 論文投稿をご希望の場合、年会費納入が条件となっております。論文投稿希望者の年会費納入確認は、各担当支部（3 月末・6 月末・8 月末・10 月末・12 月末）の編集委員長が行っておりますので、論文投稿される際の年会費納入確認は各担当支部長にご連絡いただきますようお願い致します。

《2016 年度決算・2017 年度予算報告》

2017年度日本比較文化学会 予算			2016年度日本比較文化学会 決算		
科 目	2017年度予算	摘要	科 目	2016年度予算	2016年度決算
I 収入の部			I 収入の部		
1、資産運用収入			1、資産運用収入		
利子	160		利子	2,000	162
2、会費収入			2、会費収入		
一般会員	2,838,000		一般会員	2,450,000	2,603,000
賛助会員	10,000		賛助会員	10,000	10,000
3、事業収入			3、事業収入		
『比較文化研究』配布収入	6,000		『比較文化研究』配布収入	10,000	6,000
4、寄付収入			4、寄付収入		
寄付収入	0		寄付収入	0	0
5、その他	0		5、その他	0	0
当期収入合計(A)	2,854,160		当期収入合計(A)	2,472,000	2,619,162
II 支出の部			II 支出の部		
1、大会開催関連費			1、大会開催関連費		
第39回大会費	300,000		第38回大会費	300,000	300,000
第39回大会・海外会員補助	50,000		第38回大会・海外会員補助	50,000	50,000
2、支部運営補助費			2、支部運営補助費		
支部運営補助費	60,000	10,000×6支部	支部運営補助費	60,000	60,000
3、『研究』発行費			3、『研究』発行費		
編集補助費	500,000		編集補助費	600,000	500,000
発送費	800,000	外部委託による発送 作業費を含む	発送費	800,000	730,374
4、会員活動補助費			4、会員活動補助費		
若手研究者海外渡航費補助	150,000		若手研究者海外渡航費補助	150,000	0
5、提携学会交流費	100,000		5、提携学会交流費	100,000	88,178
6、管理費			6、管理費		
事務局費	35,000		事務局費	150,000	23,539
交通費	150,000		交通費	50,000	90,760
通信費	10,000		通信費	10,000	1,490
業務委託費	380,000		業務委託費	380,000	365,506
会議費	100,000		会議費	100,000	10,000
印刷費	50,000		印刷費	50,000	53,402
HP管理維持費	50,000		HP管理維持費	50,000	28,680
『会報』編集補助	27,000		『会報』編集補助	25,000	25,290
手数料(振込み等)	38,000		手数料(振込み等)	35,000	37,122
7、予備費	100,000		7、予備費	100,000	31,520
当期支出合計(B)	2,900,000		当期支出合計(B)	3,010,000	2,395,861
当期収支差額(A)-(B)	-45,840		当期収支差額(A)-(B)	-538,000	223,301
前期繰越額(C)	3,787,459		前期繰越額(C)	3,564,158	3,564,158
次期繰越額(A)-(B)+(C)	3,741,619		次期繰越額(A)-(B)+(C)	3,026,158	3,787,459

* 2017年5月1日現在 一般会員:567名、学生会員:1名 567人×5,000円+3,000
=2,838,000